



宮崎県 にしめらそん 西米良村教育委員会

eライブラリが授業と家庭学習をつなぐ！ ～ 学習履歴の活用と単元のふりかえりに～

人口およそ1000人の西米良村の学校では、ICTを活用した授業を積極的に行っています。eライブラリを使った持ち帰り学習やふりかえり、レディネスでの活用効果とポイントをご紹介します。

学習履歴から前時のつまずきを確認

西米良村立村所小学校



▲ 教材ごとに、得点からつまずきを確認

算数 単元：2けたでわるわり算の筆算

ねらい 仮商に修正が必要な筆算の仕方を理解する

村所小学校では、eライブラリのダウンロード学習で出題した家庭学習の確認から授業が始まりました。担任の黒木先生は、クラス全体の学習履歴から、つまずきの多かった教材を開き、復習をします。児童は、前時のつまずきを事前に確認することで、スムーズに本時の問題へ進んでいきました。

単元のふりかえりにドリル学習

西米良村立西米良中学校



▲ 終末にドリルで単元のふりかえり

理科 単元：動物の生活と生物の進化

ねらい 軟体動物の体のつくりの特徴に気づく

西米良中学校では、2年の理科でイカとアサリを解剖し、特徴を記録しました。観察結果の考察とまとめを行った後は、eライブラリのドリルで単元のふりかえりです。「ドリルの問題には、解答解説が付いており、さらに理解を深められるためとても良いです」と米良先生。問題を解いた後、解答解説を読み、友達同士で教え合う姿も見られました。

インタビュー 西米良村の取組とeライブラリの役割

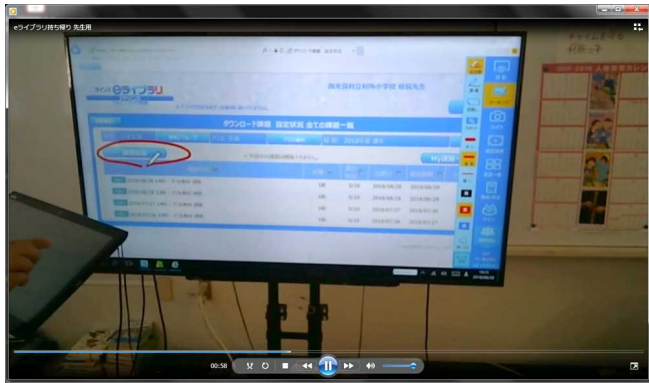
西米良村では、平成24年からICT機器を計画的かつ段階的に整備し、授業改善・指導方法の改善を通じて、子どもたちの学力向上を目指しています。そして、平成28年に個に応じた指導の充実を図ることを目的にeライブラリを導入しました。具体的には、「子どもたちが楽しみながら主体的に学習に参加できる」「学習履歴を活かし、授業改善・指導方法の改善をする」の役割を担っています。

学校訪問や研究授業などで授業を見ていると、**eライブラリを利用することによって、子どもたちの参加意欲は向上し、まとめやふりかえりも授業時間内にしっかり行えるようになっていきます。「授業改善・指導方法の改善を通じて、子どもたちの学力を向上する」というねらい通りの効果が出ています。**



教育長
古川 信夫 氏

先生がICTをすぐに使えるための工夫



▲ 古川教育長が作成した機器の動画マニュアル

eライブラリをはじめとする各ICTを、先生が使いたいときにすぐに使えるように古川教育長が主体となり、動画マニュアルを作成しています。動画マニュアルは、利用目的ごとや機能ごとに分けて共有されているので、先生からも使いやすいと好評です。

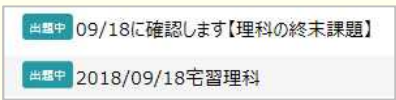
この取組には、「ICTを活用してより良い授業を実践でき、子どもたちの学力向上につながってほしい」という古川教育長の熱い思いが込められています。

eライブラリ活用のねらい

- 前時の学習内容のふりかえりを行い、定着を図る。
- 学習履歴から児童生徒の理解度を把握し、つまずきの補充、および授業改善につなげる。

先生の工夫

- 持ち帰り学習（ダウンロード学習）の課題は、タイトルを提出日にして、児童生徒が期日までに課題提出を意識できるようにしている。
- 持ち帰り学習をスムーズに運用するために、保護者向け案内文書で学習ルールやタブレットを取り扱うときの注意点などを周知している。



村所小学校 4年担任
黒木 雄治 先生

インタビュー 児童の様子とeライブラリの良さ

子どもたちは、eライブラリで学習する時間をとても楽しみにしており、授業の前に「いつeライブラリをやるんですか」と聞いてくることもあります。また、1つの教材で幅広い範囲の学習ができるため、持ち帰り学習では、復習だけでなく予習にも利用できます。予習で初めて取り組む問題は、ヒントや解説を見ながら主体的に学習してくる姿も見られ、子どもたちの学習意欲が高まっているのがわかります。今では「朝学習」の時間でドリルを利用するようにもなりました。

帯の時間では、いろいろカード帳もよく利用しており、子どもたちは「○（覚えた!）」「×（わからない）」を使いながら集中して学習しています。教科ごとに教材も分かれているため、とても使いやすく重宝しています。



西米良中学校 理科
米良 公利 先生

インタビュー レディネスでの活用効果とポイント

eライブラリは、学習前のレディネスとして小学校の教材に取り組むことができ、結果が数値に残るところが良いです。特に系統別に学習する理科では、初回正答率が低ければ、解説にひと工夫が必要と判断でき、授業の進め方を考えることもできます。

レディネスで利用するときは、単元のはじめに実施しており、基本的には授業内で行っています。授業内で時間を作れないときは、「朝自習」でもドリルを利用しているので、教科と単元を指定して取り組み合わせることで実施できると思います。成績が積み重なっていくことで、子どもたちも自分の苦手な分野に気づき、自ら学習するようになってきましたし、着実に学習効果が出ていると思います。